

1999年(平成11年)1月号
第 14 号

きぼう

この子等の幸せを考える親の会
親の木グループ

事務局

☎494-0018

尾西市富田漆畑16番地

TEL/FAX

0586-61-6055

編集責任者：広報・研修部

年頭のご挨拶

この子等の幸せを考える親の会

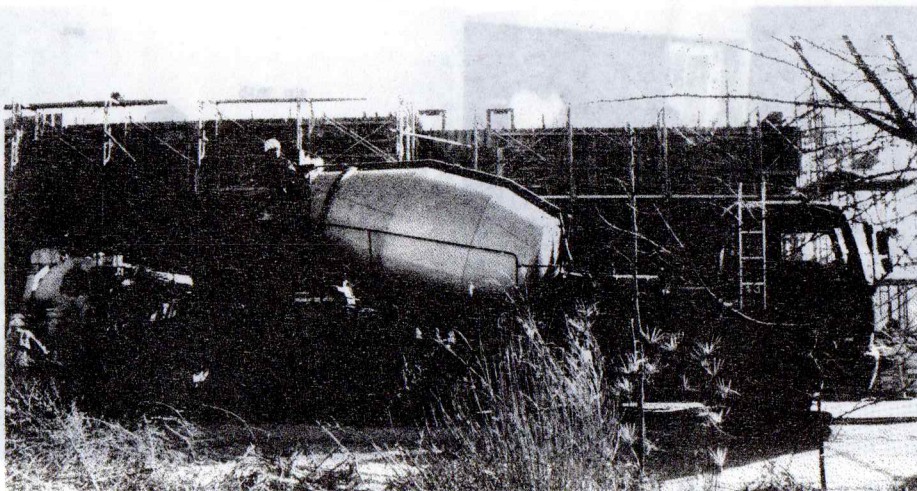
会長 小塚 清

新年明けましておめでとうございます。

会員はじめ関係者の皆様方には良いお年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。本年も、昨年同様相変わリませずご指導ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、私ども念願の生活施設は、昨年10月より工事が着工され、早3階の基礎工事が進められております。立派な建物ができあがることに胸が膨らむ日々であります。

年頭にあたり思うことは、この皆さんの熱意と協力と念願の施設が文字どおり地域の福祉の拠点となるようにこれからの努力が大切であるということです。私達の希望は、障害者がこの生まれ育った地域で有意義な暮らしを送ることができることにあります。この意味で、生活施設建設の完成は新たな出発であるといえます。地域の福祉団体、関係者が連携し合って、心豊かな住みよい福祉の町づくりのために、まず親が額に汗してがんばろうではありませんか。



着々と進む、生活施設の建設工事

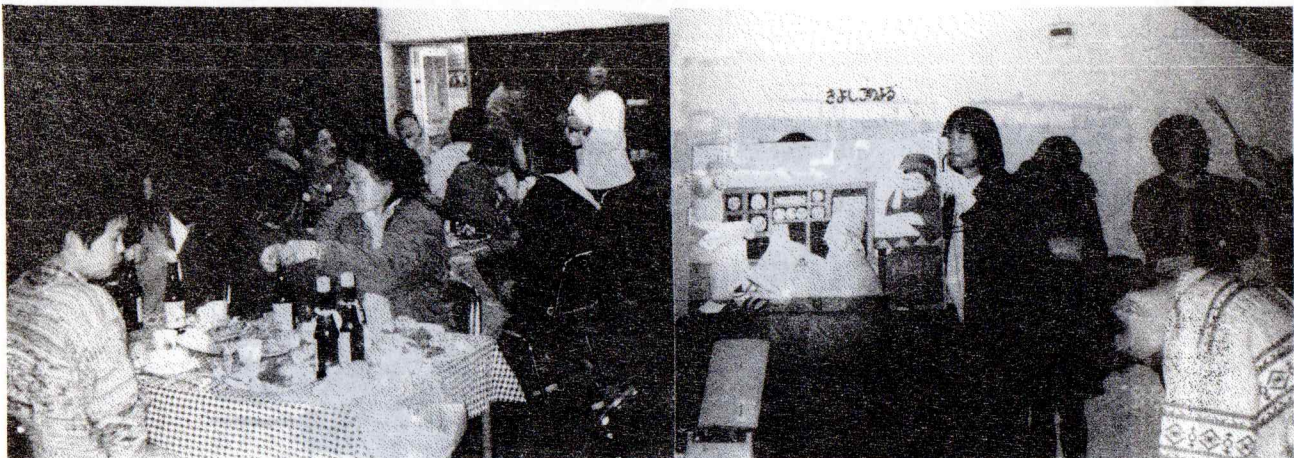
クリスマス会

クリスマスが近づくにつれ、街のあらゆる所でサンタクロースの姿をした人やクリスマスツリーをよく見かけました。そのような中、樫の木でもクリスマスの音楽が流れていたりしてクリスマスを待ち遠しく思っている方も多くいらっしゃいました。

毎年クリスマス会では、お互い一人一人が準備から片付けまで協力し合うわけですが食材を買いにいかれる方、部屋をコーディネートされる方、料理をされる方、それぞれいろいろな想いを抱いていたのではないかと思います。私自身、皆さんの表情を伺っていても、“こんなクリスマス会にしたい”という期待感や、“お互いの協力や助け合いで何かをやり遂げる”という達成感というのをありありと感じる事ができました。いざ準備も整い、神聖な会として静かにスタートするのですが、その時だけは少し緊張された表情や雰囲気を感じ取られ、私自身すごく緊張してしまいました。

しかし、その後のゲームや劇などの出し物では表情や雰囲気はガラッと変わり、笑顔や感動が満ちあふれる場面が多く見られました。多少!?職員の練習不足により、サーッと引くような雰囲気もありましたが、みなさんのフォローで助けられホッと息をつく場面もありました。そんないろいろな場面において、みなさんの表情や雰囲気のギャップに大きく驚きました。その反面、その場の雰囲気や状況に応じて気持ちや緊張感を切り替える事は大切な事だと思うし、そういうたいせつな場をつくっていくというのも大切な事だと思いました。

これからもいろいろな行事において、一人一人が何か少しでも感じ取る事ができ、自分にプラスになってゆけばいいなあと考えています。そして職員もみなさんも同じ気持ちで緊張したり感動したり、心に残る思い出をつくっていきたいと考えています。



平成10年12月19日、賑わうクリスマス会の光景

榎の木コーナー

初めての行事に思うこと

利用者の皆さんとお付き合いさせて頂くようになって、まだ七ヶ月しか経っていませんが、この間にもいろいろな行事があり行事と一緒に過ごすにつれ利用者の皆さんとの関係も親密なものになっていったように思います。特に慰安旅行では榎の木を離れた所で一泊二日を共に過ごしたわけですが、今までに見たことのない表情や行動が見られました。また、共に楽しむ事もでき利用者の皆さんとの距離がより一層近付いたことを思い出します。今後も色々な行事がありますが、行事の場を利用者の皆さんと楽しみを共有できる場に、より良いお付き合いができる為の糧としていきたいと思っています。

年末一時金について

榎の木園では、一律五千円という金額が年末一時金として、みなさんに支払われています。この金額が多いか少ないかは、みなさんそれぞれだと思いますが、みなさんの表情を見ると、自分が稼いだという満足そうな表情もうかがえて良いものだと感じました。

年末反省会（忘年会）では、ここ2年、園の中で行っています。年に一度の忘年会ですので、外で行うという事も、うまく考えておこなっていただけらと思っています。



お餅つき大会に参加して

平成10年の年の瀬の日曜日に、親の会主催の餅つき・人形劇の会が行われました。私には、二回目の参加となりました。息子が交通事故で檜の木作業所にお世話になって二年目を迎えています。

昨年は薪が湿っていて困りましたので、今年は半年も前から準備をし、皆さんが待っていた餅つきの日を迎えました。私は、障害を持った子等にとっての、当たり前の生活、普通のこと、健康であることをありがたく思うし、障害を持った子等の明るさを、明日の糧、希望にしたいと思っております。

皆も参加してお餅をついたり、ゲームをしたり、また焼きそばや綿菓子も戴き、楽しい一時を過ごさせていただきました。豊田合成のボランティアの皆さんも一緒になって過ごしていただきました。ついたお餅は、あんころもち、きなこもち、おろし大根でいただき、あったかい味噌汁もおいしくいただきました。午前中は餅つき大会を楽しみ、午後は、場所を檜の木園に移動して、たまごやきさんによる人形劇「人参ばたけのパピプベポ」を見せていただき、おもしろく過ごさせていただきました。ほんとうにありがとうございました。

今日この日の行事が、親と子、ボランティアのまたひとつ、あたらしくありがたい「ふれあい・であい」の絆となってくれればと思います。各役員や職員、ボランティアのご協力下さった皆様方に深く感謝致します。



平成10年12月20日、力強く餅をつく

冬の物資販売

ありがとうございました

冬の物資販売もお陰さまで、前回に続き皆様からたくさんご注文頂き、331,734円の収益を上げることができました。わたしたちの活動が、少しずつ皆様にご理解頂けているものと深く感謝しております。ありがとうございました。

手芸なら何でもという方で、あちこちでご活躍されていますが、親の会には『何かお役に立てたら嬉しい。』とおっしゃって、お忙しい中ボランティアとして色々教えて頂きました。

お陰さまで、各地のバザーでクリスマスリースをたくさん出品することができました。金額もかわいい100円物から1500円までと様々。特に尾西祭りでは、たくさんのお客さまにお買い求め頂き、あっという間に売り切れてしまうほどでした。山家先生ありがとうございました。

今度は、一年中飾れるリースを手掛けてみようかと考案中です。どうぞ期待！

【バザー売上報告】

H10. 10. 24/25	尾西まつり	221,050円
11/22	尾西福祉フェスティバル	43,050円
23	コスモスまつり	36,950円
28・29	一宮福祉とボランティア	39,650円
12/6	ときわバザー	28,920円

【バザー今後の予定】

H11. 2/4・5 松坂屋 福祉の店

今年も松坂屋で、障害者の作品即売会が行なわれます。期間は、2月4日～9日までで、親の会は4日と5日の二日間出品させて頂きます。福祉の店には、素晴らしい作品がいっぱいです。ぜひお出かけください。

★★★リース好評でした!★★★

バザーに出品する手芸品も、今年度は時期に合わせたものをということで、秋口よりリース作りに励みました。

尾西市内に在住の山家早苗先生に色々ご指導頂き、クリスマスリースを手掛けました。

山家先生はアイディアマンで、靴下のわかから造花を作ったり、ブローチにしたり、リースにと。頭の固い私たちには、とうてい及ばないアイディアを次から次へと生み出してくださいました。

(6)

親の会会報

お知らせコーナー

餅つき大会に

出店のボランティア参加

— 豊田合成労働組合の皆さん



12月20日(土)、恒例の餅つき大会を開催しましたところ、本年も豊田合成労働組合の皆さん方が来所して下さい、檜の木の一様さんと一緒になって餅つきをしたり、ゲームコーナーで遊んだり、又、焼きそばや綿菓子のお店を出してください、とても楽しい一時を過ごすことができました。

クリスマス会に

サンタさん登場

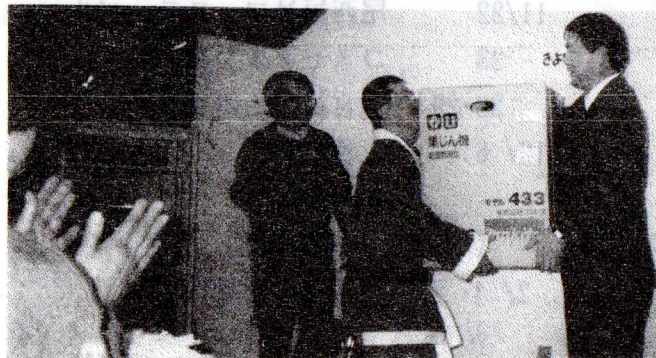
— 文化企画室マドンナの皆さん



12月19日(土)、檜の木作業所ではクリスマス会が開かれました。会場にてプログラムが進む中、サンタさんが登場！若いサンタさんと握手を交し、大きなお菓子の袋を戴き、施設利用者の皆さんもご満悦顔。

集塵機の寄贈

— フードサプライジャスコさん



12月19日(土)、フードサプライジャスコ(中部事業所)の所長さんが来所して下さい、当日サンタさんに扮していた檜の木親睦会長に集塵機を贈呈してくださいました。現在、集塵機は作業所で大活躍です。ありがとうございました。